

流山をつなぐ野田！

野田ひろき新聞

2015年3月8日発行 第1号 編集・発行 野田ひろきと共に考える会



みなさん はじめまして、私、野田ひろきと申します。
今、流山市は人口が増え、都市として発展しています。その一方で、幼い頃遊んでいた森が消えたり、懐かしい風景がなくなったりもしています。そんな変化している流山の今について、私の考えを知っていただきたく「野田ひろき新聞」を発行致します。お目通しいただけると幸いです。

「流山会議」を開きました

「流山会議」とは野田ひろきが流山をよりよい「まち」にするために討議する場として主催している公開の会議です。

3月1日、「株式会社宣伝会議」の元同僚、鈴木洋平氏を招き「若者にとって今の流山とは？」と題した討論会とディスカッションを開催しました。

第一部「野田ひろき(25歳)×鈴木洋平(27歳)」

●流山はいろんな意味で「変」わっている！?

【野田】流山は初めて？【鈴木】初めて。横浜から1時間半、つくばエクスプレスも流山も知らなかった。

【鈴木】野田君とは会社の1年目と一緒に、自己紹介のとき「最寄駅は流山おおたかの森駅です」って(笑)。



鈴木洋平氏 上司に笑われたね。【野田】こいつどんなところから来ているんだと(笑)。【鈴木】当時から「流山市はこうなんです！」って熱かった。【野田】流山おおたかの森駅は市長が気に入った名前。流山セントラルパーク駅って名前はどうか？ NYから採ったんだけど。【鈴木】横浜には、そんな変わった駅名はないかな(笑)。

●広報 < 宣伝の街！?

【野田】駅名もシティプロモーションだよ。例えば「宣伝会議」(株)宣伝会議が発行する雑誌に流山市が取り上げられたね。【鈴木】自治体のプロモーションは「広報会議」(同上)の専門だったのに、マーケティング専門誌の「宣伝会議」が取り上げるようになったのは面白い。シティプロモーションって実は販促活動だよ。【野田】そうそう。地方自治体にマーケティング課がある流山市は珍しい。プロモーションをガッツリ、というのが市長の狙い。【鈴木】市長のマインドは面白い。ところで、日本は外国人観光客は右肩上

がりで増えている。その市場をどう伸ばすか。政府は2020年までに日本に呼び込むにはどうするかを考えているけど。野田君は流山の文化を訴求したいみたいだけど？【野田】実はいいところはいっぱいある。利根運河は駅近で生物多様性の研究に適しているし、1,000年続く神社があったり、近藤勇と土方歳三の別れの地だったり。最近だと「普通的女子高生が【ろこどる】やってみた。」なんてアニメもある。課題はそれぞれへのアクセス環境、バリアフリー、定期的なイベントの開催、集客、展示方法。【鈴木】流山市のコンテンツをどうしていくかは？【野田】それは大切。流山市内での気持ちの共有をもっとしたい。「広報ながれやま」をもっと面白くしたり、周知集客の活性化をしたい。世間的に社内報が熱いという話もあるし。【鈴木】確かに企業のマインドとしてインナーコミュニケーションの活性化はあるよね。トレンドではある。

●若者と地域交流って！?

【野田】流山はすごい人口増えて約17万2,600人。【鈴木】お隣の柏市はサッカーの影響で有名だよ。流山市はそういうの？ 社会人サークル、若者たちが作ろうという動きは？ 元サッカー日本代表の岡田武史監督がサッカー四国リーグのFC今治のオーナーになって市のプロモーションになったりしてる。【野田】八百屋のおばさんもチームシャツを着る街とか、スポーツが地域の交流を作る発想はあるよね。【鈴木】僕の地元の横浜で言えば、サッカー好きな子どもは自然とマリノス好きになる。昔からスタジアムに連れて行ってもらっていたから。【野田】スポーツ以外にもフェス、音楽が若者文化として浸透しているような気がする。柏の「TONE RIVER JAM」などは頑張ってるみたいだし、経済効果はあると思う。流山でもできたらいいんだけど。(裏面に続く)



第二部「参加者を交えてのディスカッション」

【野田】若者の志向について。柏に行った方が「俺遊んでる感」あるのはなぜだろう？ わざわざ遠くで待ち合わせしたり。みなさん、どこで買い物しますか？ 【Aさん】モノより、スペースを求めて、おおたかの森、三郷、レイクタウンに行くかな？ 【Cさん】食事もだけど、ロードサイクルやマラソン、流山でできるか？ 東葛駅伝はすごい。【Dさん】流山の市民まつり、産業博に大人はいるが、若者がいない。柏まつりは若者がいる。流山は若者が遊ぶ場所がない。柏には柏駅前商店街、バーや古着屋、スポットがある。

→野田の気づき「流山って、意外と若者がエネルギーを使える場所がない。」

【Dさん】松戸は高校を卒業すると寝に帰るだけ。【Aさん】流山は住むまち、楽しむまち、どっちが求められているのだろう。【Cさん】流山は地形的に災害が少ないから住みやすい。でも学校を出た後は問題。【Aさん】それまでは子育て特区な気がする。

→野田の気づき「子育てにはいいまち。でも居続けるまちではなくなってくる？」

【Fさん】流山には“怪しい”店がない。そういうところでうろついているという感覚を求める若者はいる。【Gさん】浦安は一気に人口増えて、すごい今、高齢化している。10年、20年後に何をしたいか。【Gさん】今は、40代が一番多い。でも彼女らは、たったの20年後にリタイアする。その下の世代を考えないと。

→野田の気づき「好きになれるまち。なんとなくでも居たいまちの魅力づくりが必要。」

【野田】地元の仲間が集まるバーが欲しい。【Cさん】おおたかの森にPRONTがほしい。【Dさん】いろいろなみんな好き勝手言っているけれど、野田さんには若者を代表して発信して欲しい。意見を集約して参加を促すとか。【Gさん】若者が楽しい、わくわくするまちにして欲しい。【Cさん】このままだと、子どもが育って出て行っちゃうまちになる。【野田】今が変革の時。思いを具現化したい。



→野田の気づき「事件は会議室で起きる！」

会議を終えて…野田ひろき

話題がシティプロモーションから、求められる都市像に移り、“いかにまちを売り込むか”も、結局、“どんなまちにしたいか”に行きつくと思いました。まちにもっと人とのつながりを見いだせれば、流山はさらに楽しいまちになりますよね。都市計画もさることながら、人とのつながりを、これからもみなさんと話していきたいです。



第3回流山会議 開催のお知らせ

日時:3月15日(日)15:00~16:30

場所:流山市生涯学習センター3階

テーマ:人をつなぐまちづくりとは

コメンテーター:星野善晴氏/中村遥氏



よしはる
星野善晴…東京都出身。東京芸術大学大学院在籍。建築を軸にしながら、他の領域とのコラボレーションによる新しい表現を模索している。各地のまちづくりに参加。利根運河シアターナイト初代代表(2012)。邦楽絵巻「義経記」舞台美術(2014)など。



中村遥…神奈川県出身。東京理科大学理工学部建築学科在籍。利根運河シアターナイト2014代表。授業で流山のまちづくりを考え、昨年、流山市文化会館で行われた「流山まちづくり大学」(東京理科大学セミナーハウス主催)に発表者として参加。

続々開催

「流山会議」に行ってみよう！

第4回 3月28日(土) 15:00~16:30

第5回 4月12日(日) 15:00~16:30

——入場無料・お気軽にお越しください。——

流山市生涯学習センター3階会議室

〒270-0153 流山市中 110

TX「流山セントラルパーク駅」下車3分

あなたも野田ひろきと共に考えよう！ 化学変化が起きる、まちの色が変わる！

----- 後援会の加入のお誘いです。ご連絡をお待ちしています。 -----

[電話]090-4950-9992

[メール]nodahiroki1989@gmail.com

カンパは、下記口座までお願いします。※法律の関係から、御名前の記載をお願い致します。

ゆうちょ銀行 〇五八支店 普通預金 野田ひろきと共に考える会 3436118